

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	30 / 2011 / 25
タイトル	天田内川のサケ今年の遡上も少なかった(2011年の記録)
著 者 名	五十嵐豊

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

天田内川のサケ今年の遡上も少なかった(2011年の記録)

第6代 五十嵐 豊



昨年の記録は11月20日で、20匹前後遡上したと報告したが、その後も少し遡上が見られ、総数30匹前後は遡上したと思われる。

今年も10月から観察を始めたがなかなか遡上が見られず、ようやく31日に河口から550m地点の公園を中心に3匹の遡上を確認した。翌11月1日には7匹を確認したが、5日は5匹と死体1匹、10日は1匹と少なくなり、13日は2匹と死体1匹、15日には遂に1匹も確認できなかった。17日になって新しく遡上したと思われる個体が公園付近で6匹見られ、さらに2匹の死体を確認した。22日には河口に近い大浜橋の上流で、新しく遡上したと思われる2匹を確認した。さらに公園で4匹とこの日は合計6匹を確認した。

その後、12月6日に大浜橋上流で新しく遡上したと思われる8匹の集団が見られた。8日にはこの集団が4匹になっていた。

以上の結果、今年は10月31日から遡上が見られ、11月13日までに最大7匹、新しく遡上したものが12月6日までに16匹、合計23匹前後と今年の遡上も少なかった。

この間、数回にわたって改修終点(河口から1500m)まで調査したが、上流部では1匹も確認できず、今年は上流まで遡上しなかったようだ。

うわさでは、油川港の前で網が張られてサケを捕獲しており、そのため遡上する個体が少ないのだそうだ。網の確認はしていないが本当なら残念なことだ。この後も少しは遡上すると思われるが以上で今年の報告とする。

(第6代 五十嵐豊、2011年12月8日記)

青森市でのアメリカシロヒトリ発生

2011年9月初め頃より、青森市問屋町にてアメリカシロヒトリの食害が目立つようになった。(協)青森総合卸センター事務局へ、多数の組合員企業から対策や駆除についての問い合わせが相次いだと聞く。また、青森市などへも駆除依頼が相次いだと聞く。

問屋町で食害を受けたのは、サクラやセイヨウナナカマドなどの街路樹が中心である。第二問屋町の問屋町大通り沿い(ナナカマドが主な街路樹)では、葉がほとんど無くなったナナカマドが確認できた。見渡した範囲内では、全体の約三分の一程度が食害を受けていた様だ。ただ、葉が通常程度ついているナナカマドも多く見られた。それらは殆ど食害を受けていないのではないかと推定される。葉が茂っている樹の隣に葉が全く無い樹が有るなど、この地区では場所ごとよりは樹ごとの食害の様だった。10月に入った頃から、対策が効を制したためか、または気温が一気に低くなったためか分からないが、新たな食害はなくなった様だ。なお、9月20日に問屋町内の歩道でアメリカシロヒトリの幼虫が歩行しているのを確認している。

この他に、安方にてモミジ類(一部の葉が食害を受けた)、青森市青柳(伝聞・樹種不明)、三内霊園・富田地区(サクラ・五十嵐正俊氏より)などでも食害が確認されている。また、青森市に連絡を取った者から聞いたところ、「市内各所で発生していて、青森市では市管理下の場所以外は手が回らない状態」との事である。

(25代 石郷岡總一郎、2011年10月30日記)